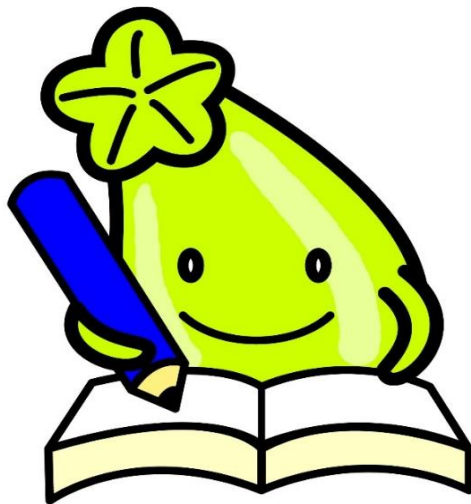


令和3年度 第2回 東成区民アンケート報告書



ご協力いただいた方
ありがとうございました！

令和4年1～2月実施

大阪市東成区役所

I アンケートの概要

1) 調査の目的

東成区の事業や取組みについて、区民の皆さんから、広くご意見や評価をいただくことで、様々なニーズを把握し、今後の東成区政に反映していくための貴重な情報として活用することを目的として、アンケートを実施しました。

2) 調査のテーマ

令和3年度第2回区民アンケートのテーマは次のとおりです。

■防災 ■防犯・交通安全 ■地域福祉 ■SDGs ■広報

3) 調査の実施状況

調査期間 : 令和4年1月20日～2月3日

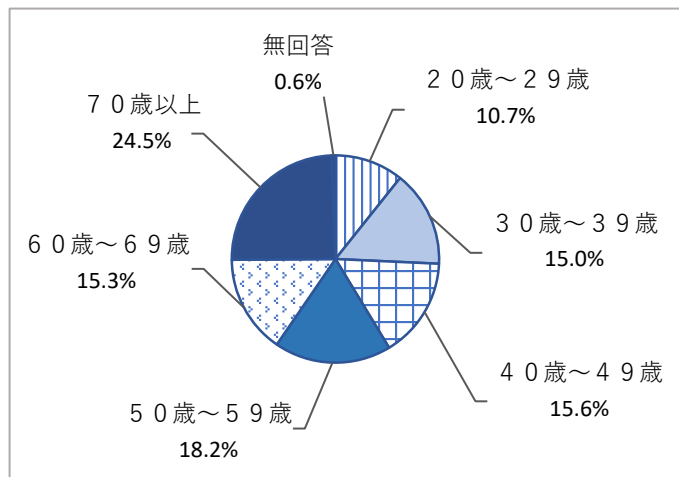
方 法 : 郵送と大阪市行政オンラインシステム

対 象 : 住民基本台帳から無作為抽出した区民1,300名

回答者数 : 653名(50.2%)

4) 回答者属性

	全体	653
年 齢 別	20～29歳	70
	30～39歳	98
	40～49歳	102
	50～59歳	119
	60～69歳	100
	70歳以上	160
	無回答	4



※アンケート結果については、小数点以下第3位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

※問1から問6までは、回答者属性にかかる質問です。

Ⅱ アンケート結果

◆◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆◆

平成30年6月の大阪北部地震や同年9月の台風21号など、近年大きな被害をもたらす自然災害が多数発生しており、今まで以上に災害に対する備えが必要となっています。

そのため、市民の一人ひとりが「自分の命は自分で守る」という心構えを持つことが大変重要となっています。

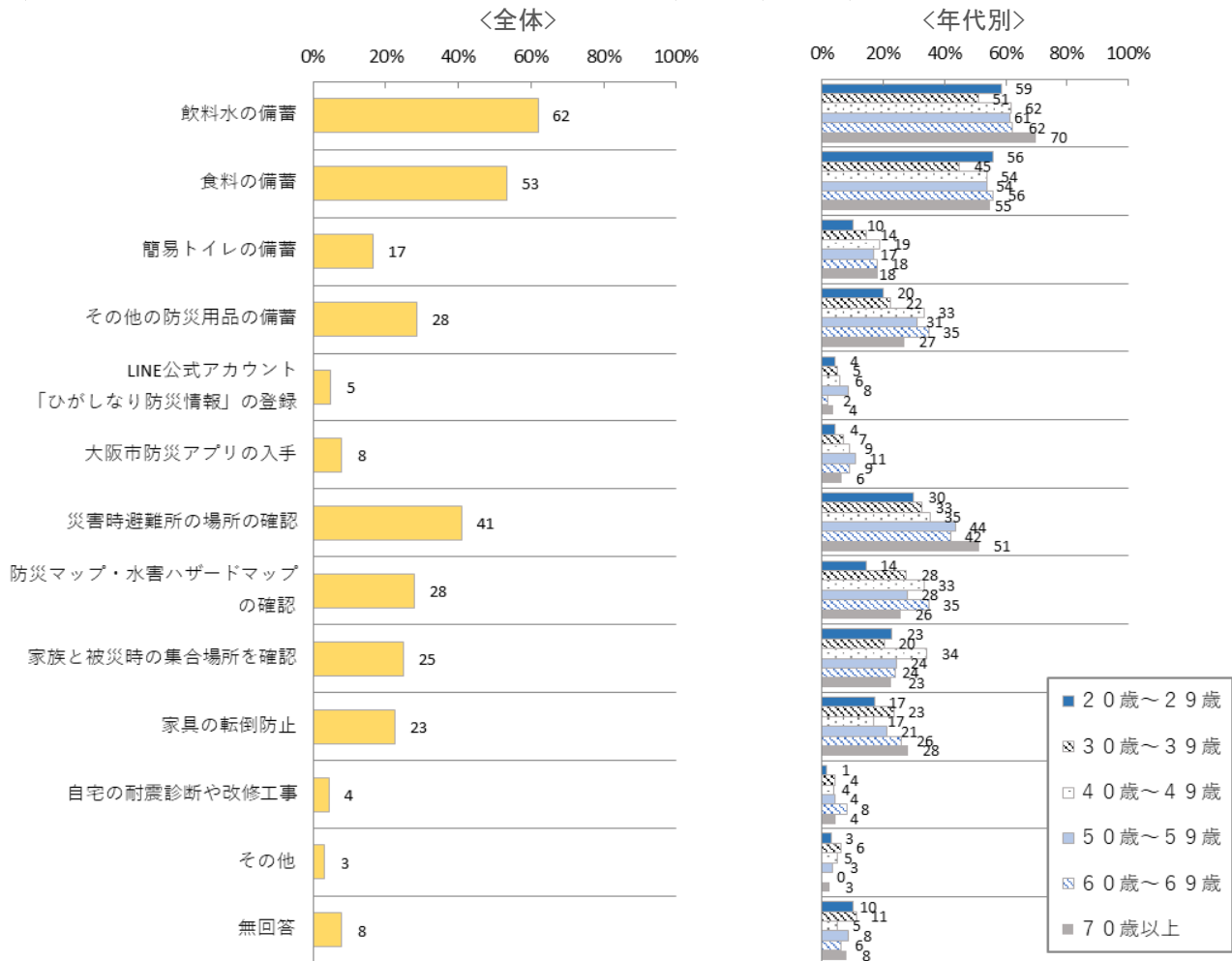
問7 災害による被害を最小限にするためには、日ごろからの備えが重要です。

あなたは自宅でのような防災対策をしていますか？【5つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 飲料水の備蓄	404	62
2 食料の備蓄	349	53
3 簡易トイレの備蓄	108	17
4 その他の防災用品の備蓄	186	28
5 LINE公式アカウント「ひがしなり防災情報」の登録	32	5
6 大阪市防災アプリの入手	52	8
7 災害時避難所の場所の確認	267	41
8 防災マップ・水害ハザードマップの確認	182	28
9 家族と被災時の集合場所を確認	162	25
10 家具の転倒防止	148	23
11 自宅の耐震診断や改修工事	29	4
12 その他	21	3
無回答	52	8
回答者数	653	

●その他の主な意見

- ・何もしていない
- ・生活用水の汲み置き



●各家庭の防災対策の充実をめざす

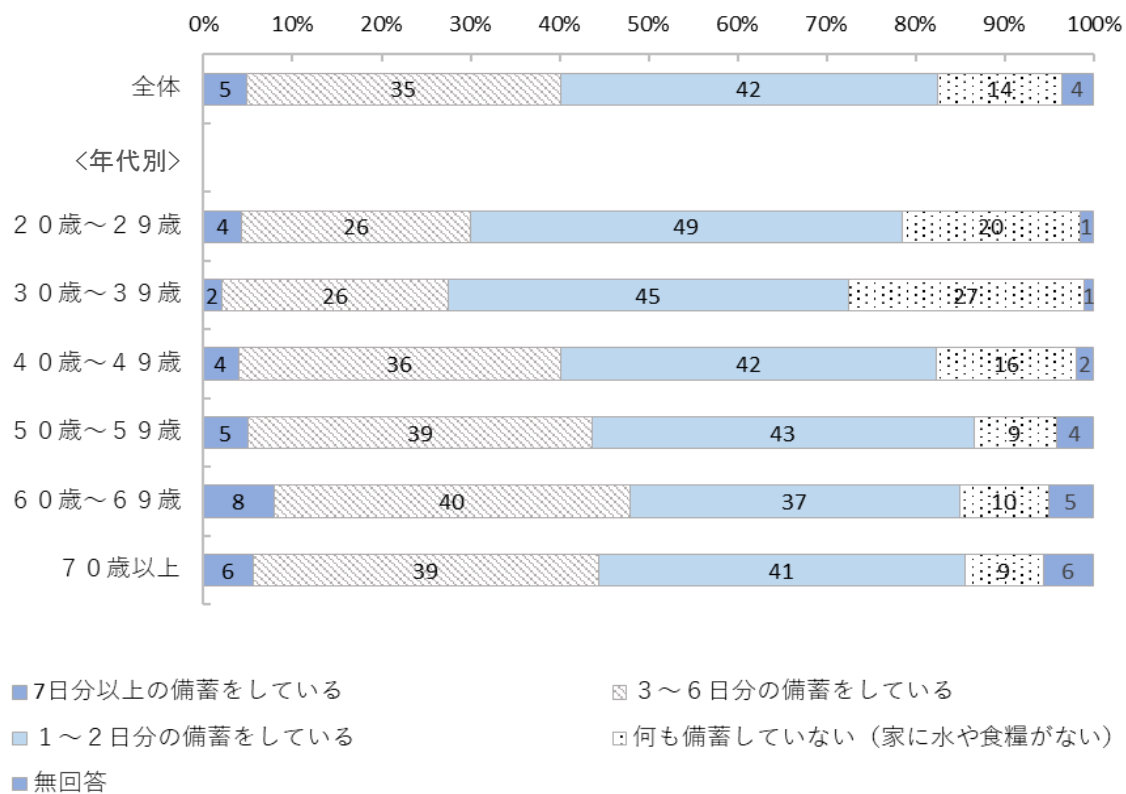
・「飲料水の備蓄」、「食料の備蓄」は50%を超えているものの、その他の防災対策を行っている割合は低く、特に20歳代は「防災マップ・水害ハザードマップの確認」など6つの項目で他の年代よりも低い結果となりました。これは、昨年度の調査と同様の傾向となっております。

・特に20歳代に対する効果的な啓発手法について検討するとともに、ひがしなりだよりや区ホームページ、ひがしなり防災情報LINEなどを通じ、引き続き家庭内の防災対策について発信していきます。

◆◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆◆

問8 大きな災害が発生した場合、救援物資が届くまでに数日間かかると言われていますが、あなたは自宅で何日分の飲料水や食糧を備蓄していますか？

	項目	回答数	比率(%)
1	7日分以上の備蓄をしている	32	5
2	3～6日分の備蓄をしている	230	35
3	1～2日分の備蓄をしている	277	42
4	何も備蓄していない(家に水や食糧がない)	91	14
	無回答	23	4
	回答者数	653	



●20歳代及び30歳代の2割以上が食糧の備蓄をしていない

・飲料水や食糧の備蓄について、3日以上以上の備蓄をしている割合がすべての年代で50%を下回っており、特に20歳代及び30歳代で30%以下でした。

・発災直後はスーパーやコンビニ等の物資はすぐなくなるため、ローリングストックにより無駄なく備蓄する手段などを、広報紙やインターネットツールなど、様々なツールを活用して広報していきます。

◆◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆◆

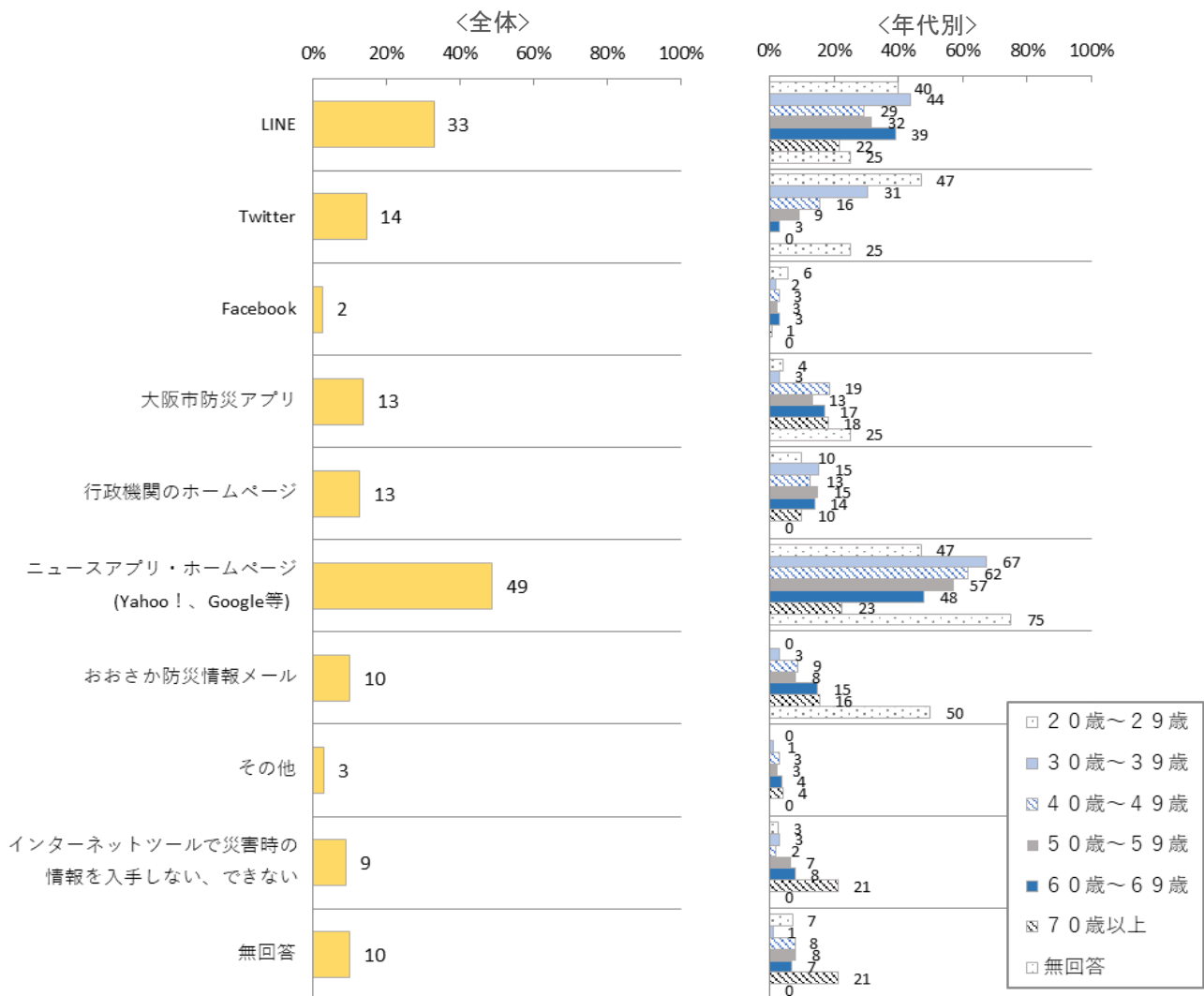
災害時において、正確かつ迅速に情報を入手することが重要です。
東成区役所では、ツイッターに加え、令和元年12月28日からLINE公式アカウント「ひがしなり防災情報」を活用し、平時は月1・2回程度、災害時には避難所開設情報などの防災に関する情報を発信しています。

問9 あなたはどのようなインターネットツールで災害時の情報を入手しますか？【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 LINE	214	33
2 Twitter	94	14
3 Facebook	16	2
4 大阪市防災アプリ	88	13
5 行政機関のホームページ	83	13
6 ニュースアプリ・ホームページ(Yahoo!、Google等)	317	49
7 おおさか防災情報メール	64	10
8 その他	18	3
9 インターネットツールで災害時の情報を入手しない、できない	57	9
無回答	65	10
回答者数	653	

●その他の主な意見

- ・ラジオ
- ・家族経由で入手



●各インターネットツールの利用者拡大をめざす

- ・インターネットツールでの災害時の情報の入手について、「ニュースアプリ・ホームページ」が49%と最も多く、「LINE」が33%と次いで高い結果となり、昨年の結果とほとんど変化はありませんでした。
- ・「インターネットツールで災害時の情報を入手しない、できない」の割合は、昨年の14%より低くなっており、インターネットツールを活用している方の割合が増えています。
- ・災害時の迅速かつ多角的な情報入手を促進するため、各インターネットツールの周知を継続して行います。また、LINE公式アカウント「ひがしなり防災情報」の登録についても継続して働きかけていきます。

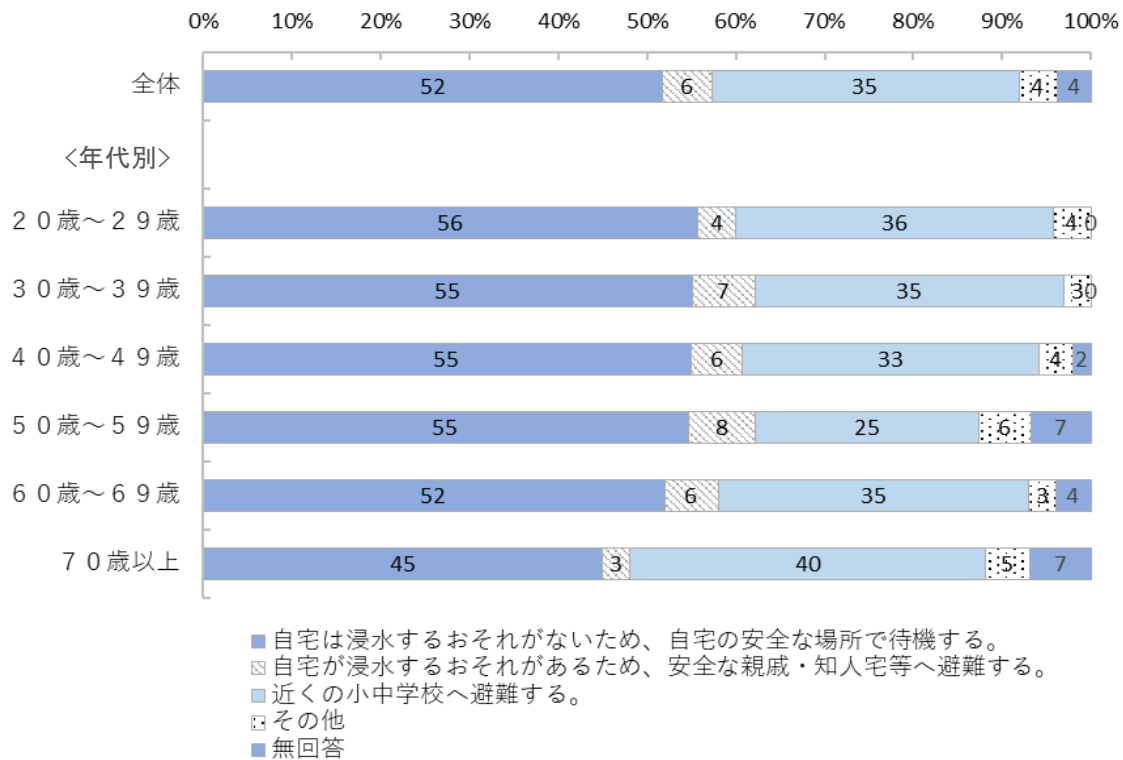
◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

新型コロナウイルス感染症が流行している現状では、大人数が集まる避難所へ移動することで、感染症にかかり、かえって自らの健康を脅かしてしまいます。
水害時の避難情報警戒レベル4が発令された場合は「避難指示」となり、危険な場所から全員避難していただくこととなりますが、どのような場合にどこに避難するのか、あらかじめ適切な行動を考えておく必要があります。

問10 水害時の避難情報警戒レベル4が発令された場合、あなたはどのような行動をとりますか？

	項目	回答数	比率(%)
1	自宅は浸水するおそれがないため、自宅の安全な場所で待機する。	338	52
2	自宅が浸水するおそれがあるため、安全な親戚・知人宅等へ避難する。	36	6
3	近くの小中学校へ避難する。	226	35
4	その他	28	4
	無回答	25	4
回答者数		653	

- その他の主な意見
- ・近くのマンションなど高い建物の上層階に行く
 - ・浸水するおそれがあるかどうか分からない



●「分散避難」への理解を促す

- ・「近くの小中学校へ避難する」と回答した人数が、「安全な親戚・知人宅等へ避難する」と回答した人数の6倍以上となっており、まず小中学校への避難を考える方が多い結果となりました。
- ・新型コロナウイルス感染症などが流行している現状では、避難所である小中学校だけではなく、「安全な親戚・知人宅」、「安全なホテル・旅館」等への避難も検討していただくよう、啓発を行っていきます。

◆◆◆◆【防犯・交通安全について】◆◆◆◆

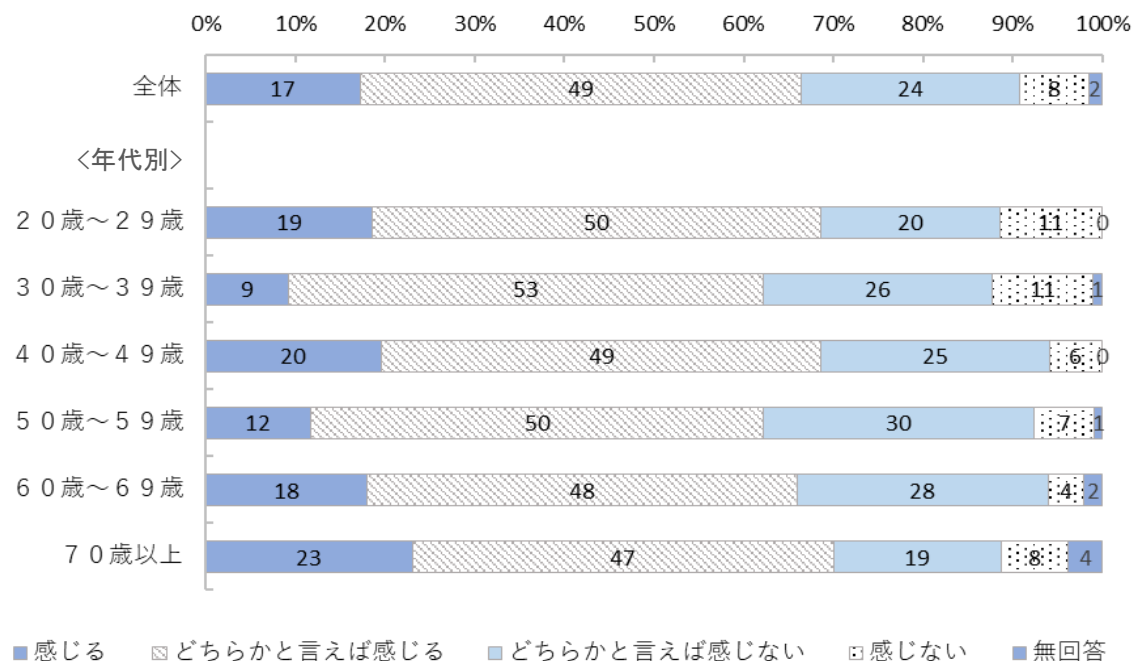
東成区では、防犯意識を高め、地域の自主防犯活動の促進を図るとともに、警察などの関係機関と連携し、犯罪抑止のための効果的な防犯対策に取り組んでいます。
また、安全で安心な通行環境整備のため、地域や関係機関と連携し、様々な取組みを行っています。

問11 東成区では、区役所、警察、建設局、地域団体が連携して、次のような様々な防犯活動に取り組んでいます。
これらをふまえ、安全で安心なまちづくりが進んでいると感じますか？

＜区役所や町会・地域団体の取組み＞

- ・ あんパトチームによる校外授業時での引率、見守り
 - ・ 青色防犯パトロールカーによる地域巡回
 - ・ 子ども向け防犯教室（保育所（園）、幼稚園、小学校）
 - ・ 区民まつりや安全安心ミニフェスタ等での防犯啓発
 - ・ 防犯カメラの設置 ・ 子ども見守り隊 ・ こども110番の家 など
- ※あんパトチーム：東成区役所市民協働課に在籍する地域安全担当職員

項目	回答数	比率(%)
1 感じる	113	17
2 どちらかと言えば感じる	321	49
3 どちらかと言えば感じない	159	24
4 感じない	50	8
無回答	10	2
回答者数	653	



●6割以上の方が安全で安心なまちづくりが進んでいると実感

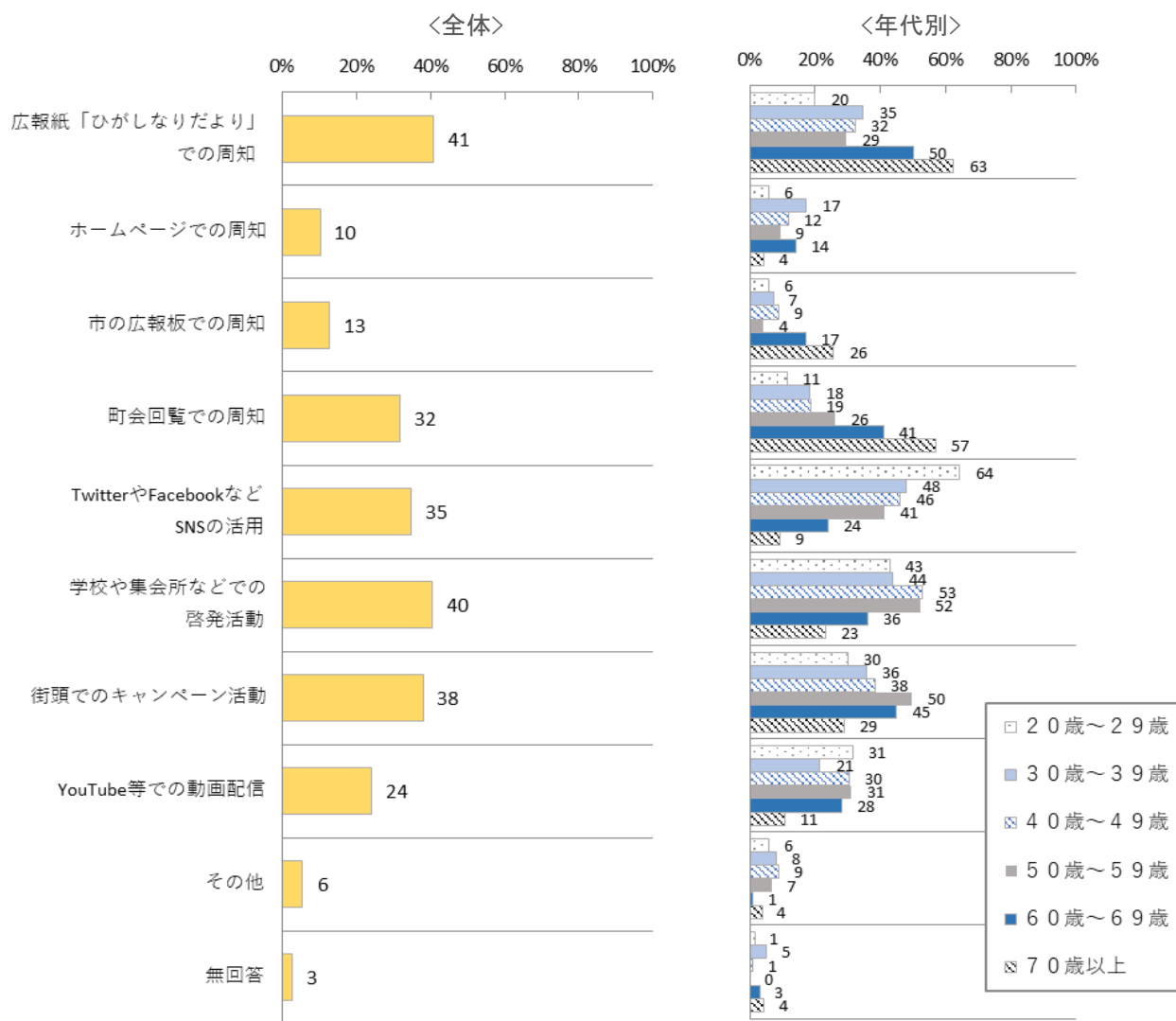
- ・「感じる」が17%、「どちらかと言えば感じる」が49%となり、あわせて66%の方が、安全で安心なまちづくりが進んでいると回答されました。
- ・「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答された方の割合が昨年度のアンケート結果の72%と比較するとやや減少しているため、今後、啓発活動のあり方について検討するとともに、広報活動についてもより積極的に取り組み、引き続き関係機関との連携のもと、安全で安心なまちづくりを進めます。

◆◆◆◆◆【防犯・交通安全について】◆◆◆◆◆

問12 昨今、通勤や仕事で自転車を利用する方が増加し自転車マナーが問題になるほか、新たな乗り物として電動キックボードの利用等についても問題になっています。交通安全にかかるマナーについて改めて知っていただくために、効果的と思われる取組みは何ですか？【3つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 広報紙「ひがしなりだより」での周知	267	41
2 ホームページでの周知	67	10
3 市の広報板での周知	83	13
4 町会回覧での周知	208	32
5 TwitterやFacebookなどSNSの活用	228	35
6 学校や集会所などでの啓発活動	264	40
7 街頭でのキャンペーン活動	248	38
8 YouTube等での動画配信	157	24
9 その他	36	6
無回答	17	3
回答者数	653	

●その他の主な意見
・警察による取締りやパトロール
・電車の中吊り広告や車内モニターで啓発



●広報紙での周知や学校や集会所での啓発活動、街頭キャンペーンが効果的と考えられている

・「広報紙『ひがしなりだより』での周知」が41%、次いで「学校や集会所などでの啓発活動」が40%、「街頭でのキャンペーン活動」が38%となり、この3項目の効果が高いとの回答でした。
・上位3項目以外にも同程度に効果があると回答いただいた項目が複数あるため、今後も多様なツールを用いた広報活動及び啓発活動を並行して実施するとともに、関係機関との連携のもと、より効果的な取組みについて検討を進めてまいります。

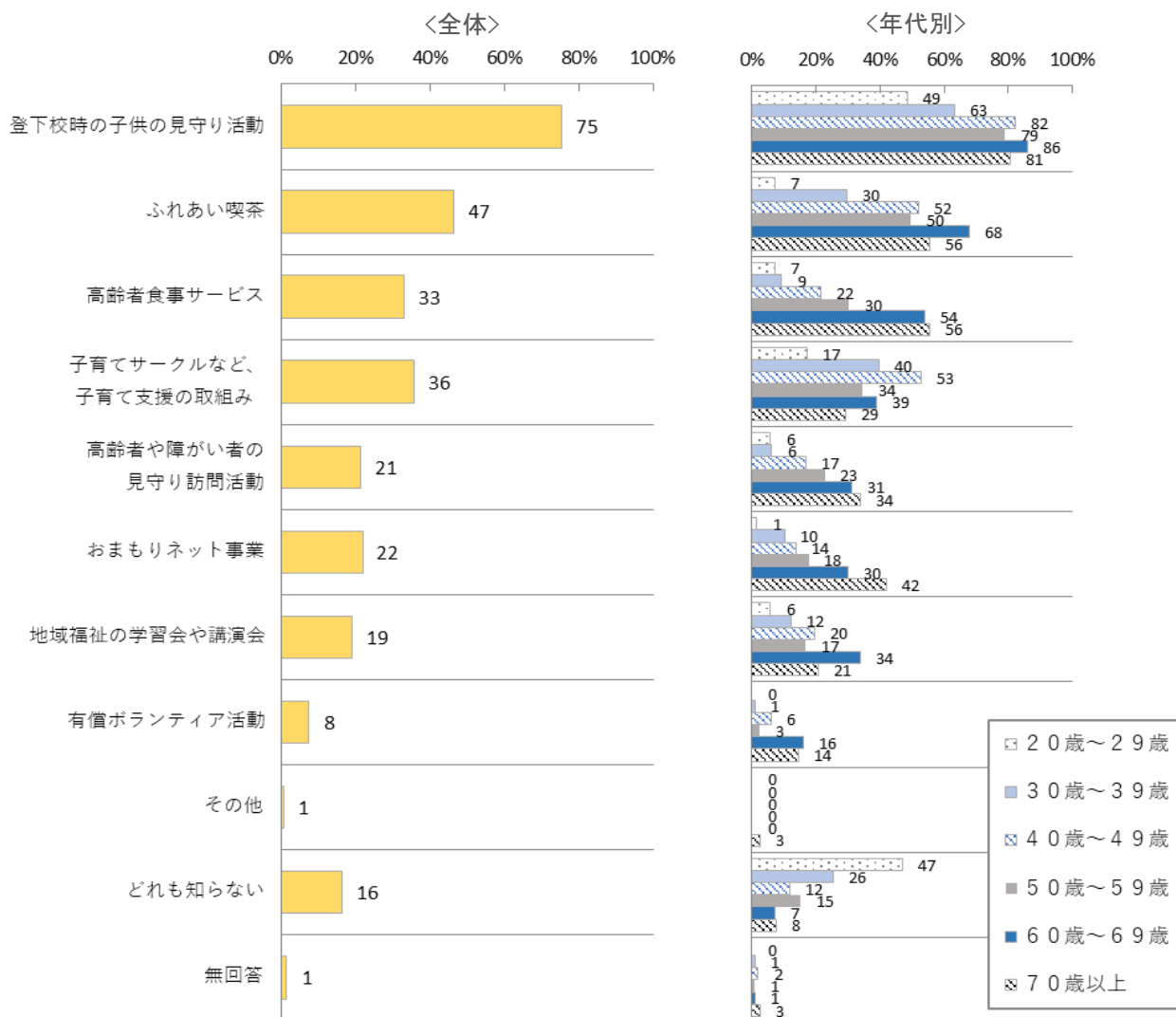
◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

東成区では、地域における支え合い活動が充実し、区民の皆様が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域の方々と専門機関と連携して地域福祉の取組みを進めています。

問13 東成区では、様々な地域福祉の取組みを地域が主体となって行われています。
次の中で知っている取組みは何ですか？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 登下校時の子供の見守り活動	493	75
2 ふれあい喫茶	304	47
3 高齢者食事サービス	216	33
4 子育てサークルなど、子育て支援の取組み	234	36
5 高齢者や障がい者の見守り訪問活動	140	21
6 おまもりネット事業	143	22
7 地域福祉の学習会や講演会	125	19
8 有償ボランティア活動	49	8
9 その他	4	1
10 どれも知らない	107	16
無回答	9	1
回答者数	653	

● その他の主な意見
・夏の盆踊り



●地域福祉の取組みでは「登下校時の子供の見守り活動」が浸透している

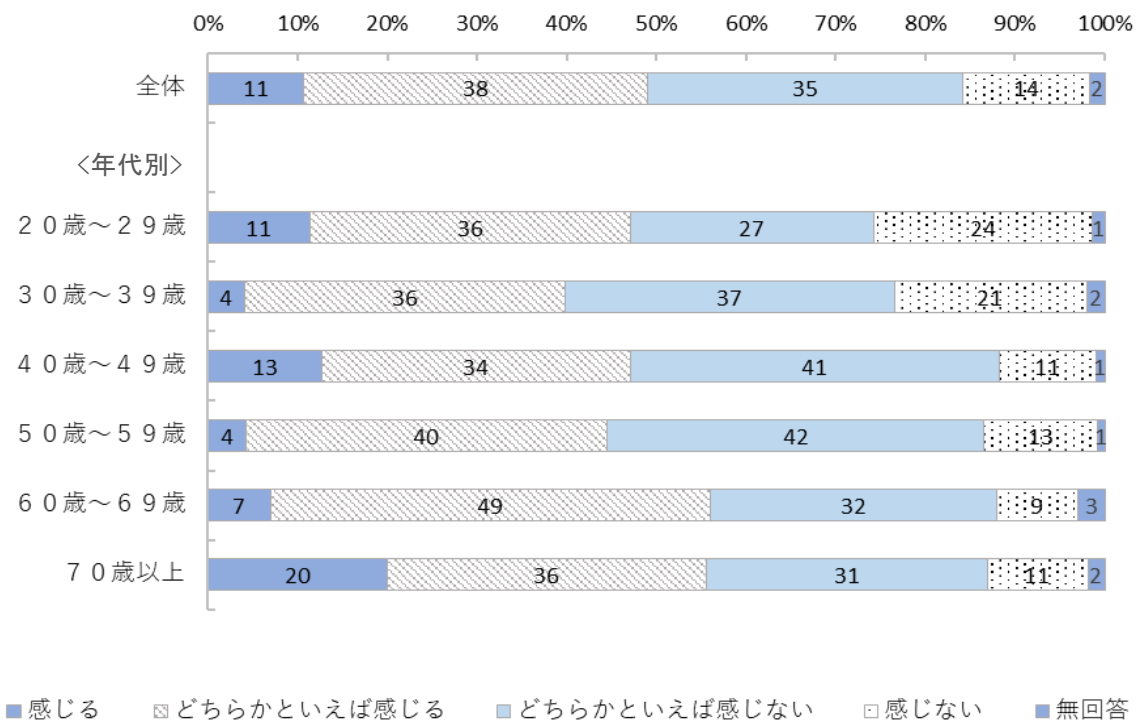
・地域福祉の取組みについては、「登下校時の子供の見守り活動」が75%で最も知られており、「ふれあい喫茶」が47%、「子育てサークルなど、子育て支援の取組み」が36%、「高齢者食事サービス」が33%と続きます。

・認知度が低い取組みについても、広く知っていただけるよう区広報紙やホームページ等を活用し、周知に努めます。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問14 問13のように、様々な地域福祉の取組みが行われていますが、その取組みが充実してきていると感じますか？

項目		回答数	比率(%)
1	感じる	70	11
2	どちらかといえば感じる	250	38
3	どちらかといえば感じない	230	35
4	感じない	92	14
無回答		11	2
回答者数		653	



●地域福祉の取組みが充実していると感じるかについては肯定的な方と否定的な方の割合が同率で49%

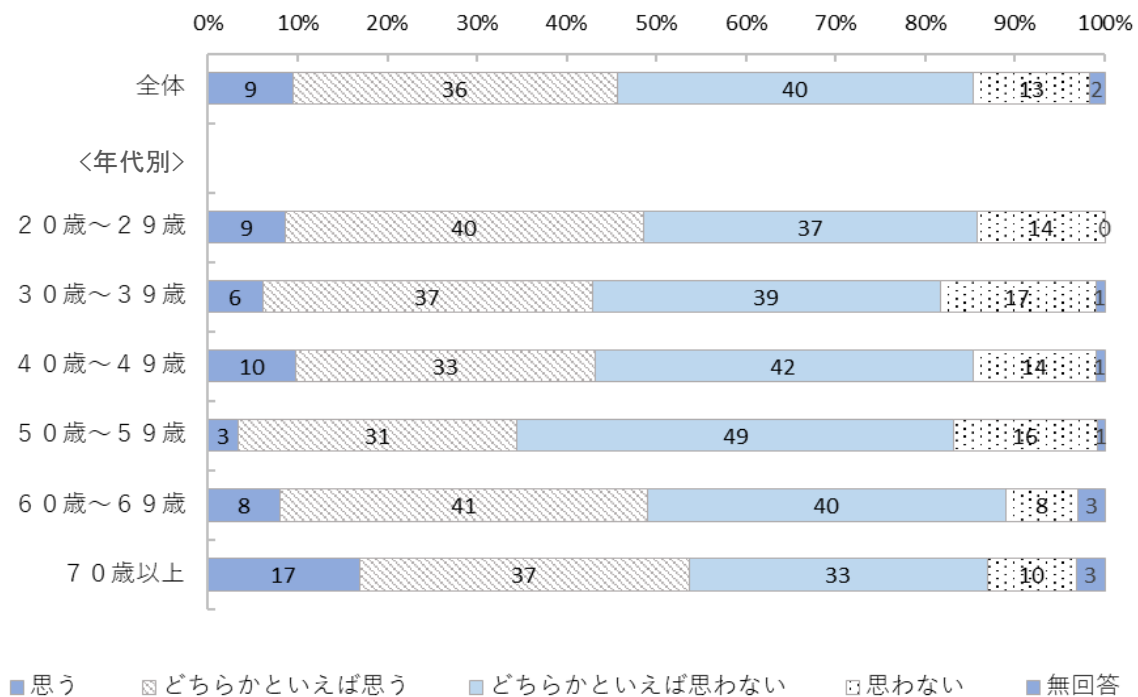
・地域福祉の取組みが充実してきていると「感じる」が11%、「どちらかといえば感じる」が38%となっており肯定的な回答は49%でした。対して、「どちらかといえば感じない」が35%、「感じない」が14%となっており否定的な回答も49%となっており、ちょうど半分に分かれています。

・年代別にみると、若干ですが60歳以上の方が若年層より肯定的な傾向にありました。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問15 各地域でさまざまな方が地域福祉活動に取り組んでおられますが、それらの取組みの中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると思いますか？

	項目	回答数	比率(%)
1	思う	62	9
2	どちらかといえば思う	236	36
3	どちらかといえば思わない	259	40
4	思わない	85	13
	無回答	11	2
回答者数		653	



●5割弱の方が「声かけ」「見守り」等の取組みが行われていると感じている

・「声かけ」「見守り」等が行われていると「思う」が9%、「どちらかといえば思う」が36%となっており、45%の方が、これらの取組みが行われていると肯定的に感じていますが、「どちらかといえば思わない」40%、「思わない」13%と否定的に感じられる方は53%と過半数を超えている状況です。

・年代別でみると50歳代以下では否定的な回答の割合が比較的高くなっており、これらの方々へも地域のつながりを実感していただけるよう、より一層地域福祉活動の活性化を支援します。

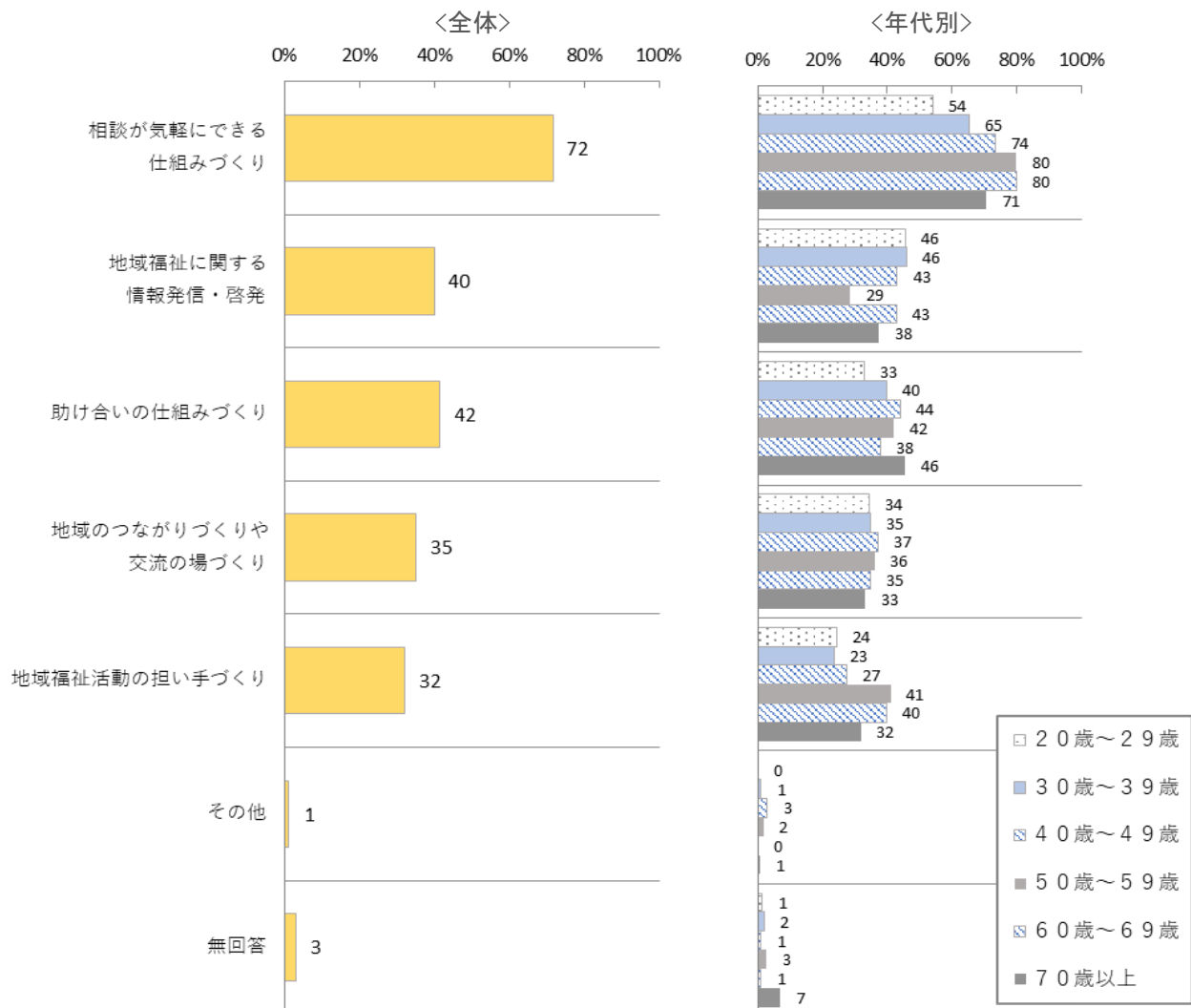
◆◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆◆

問16 今後、地域福祉をより充実させるためには、主にどのような取組みが必要だと思いますか？
【3つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 相談が気軽にできる仕組みづくり	468	72
2 地域福祉に関する情報発信・啓発	261	40
3 助け合いの仕組みづくり	271	42
4 地域のつながりづくりや交流の場づくり	229	35
5 地域福祉活動の担い手づくり	209	32
6 その他	7	1
無回答	19	3
回答者数	653	

●その他の主な意見

- ・ 回覧板などを利用し地域で声がけしてもらう。
- ・ 相談窓口を分かりやすくする



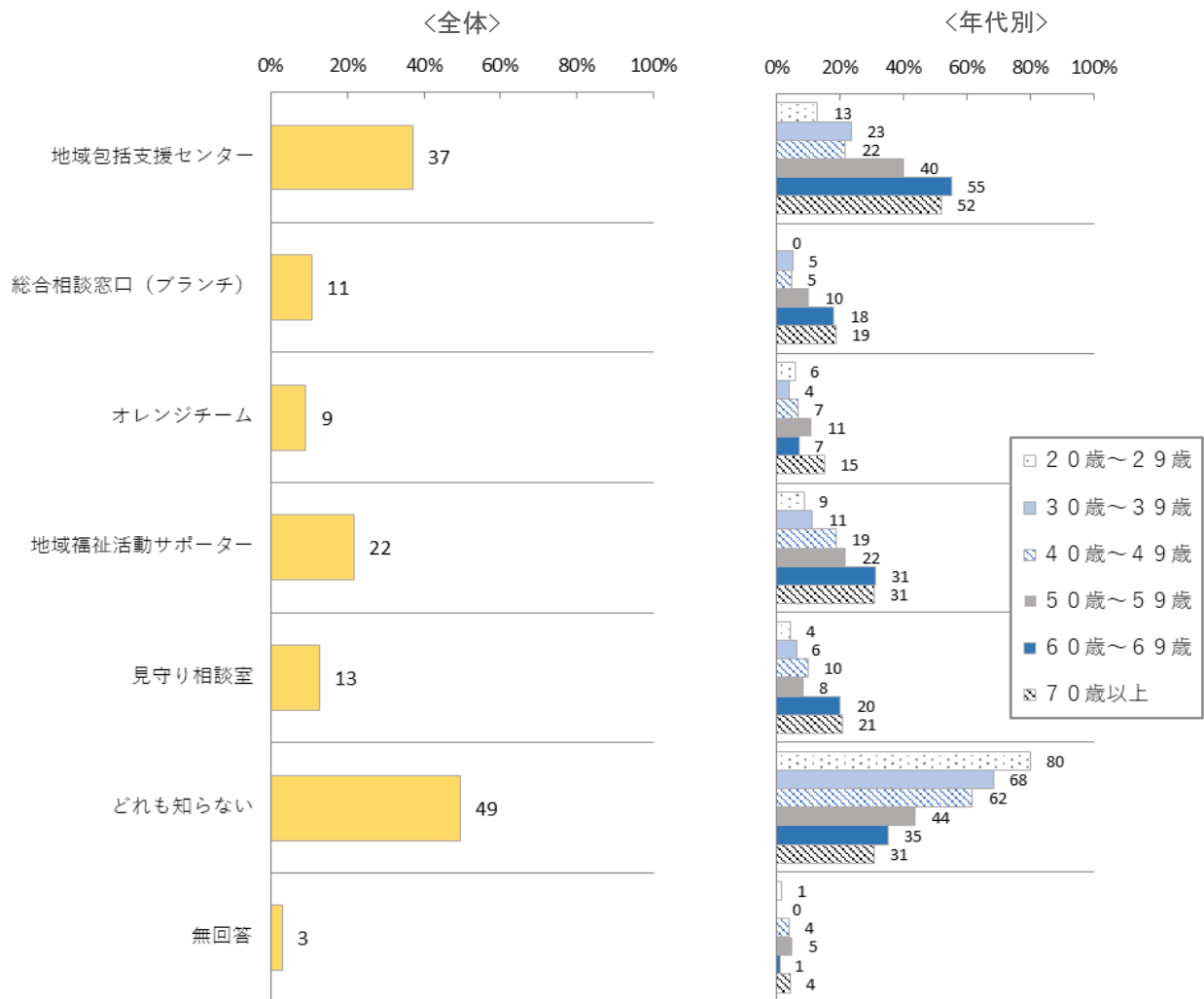
●7割以上が「相談が気軽にできる仕組みづくり」が必要と考えている

- ・「相談が気軽にできる仕組みづくり」が72%と最も高く、次に「助け合いの仕組みづくり」が42%、「地域福祉に関する情報発信・啓発」が40%と続きます。
- ・今後も関係機関と連携し、地域の身近なところで福祉に関する相談ができる体制づくりを推進するとともに、地域にある相談窓口や地域福祉に関する情報を広く発信していきます。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問17 東成区には、高齢者の方の支援や、地域福祉活動の推進などを行う、様々な相談窓口があります。
次のうち、知っているものはありますか？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 地域包括支援センター：高齢者のくらしや介護の相談窓口	242	37
2 総合相談窓口（ランチ）：高齢者のくらしや介護の相談窓口	70	11
3 オレンジチーム（認知症初期集中支援チーム）： 認知症が気になる（お困りの）方の相談窓口	60	9
4 地域福祉活動サポーター： 身の回りの困りごと相談や、ふれあい喫茶等集いの場づくりの推進員	143	22
5 見守り相談室： 日頃からの見守り活動や、住民どうしのつながりづくりの相談室	84	13
6 どれも知らない	323	49
無回答	19	3
回答者数	653	



●「地域包括支援センター」が地域の相談窓口として最も知られている

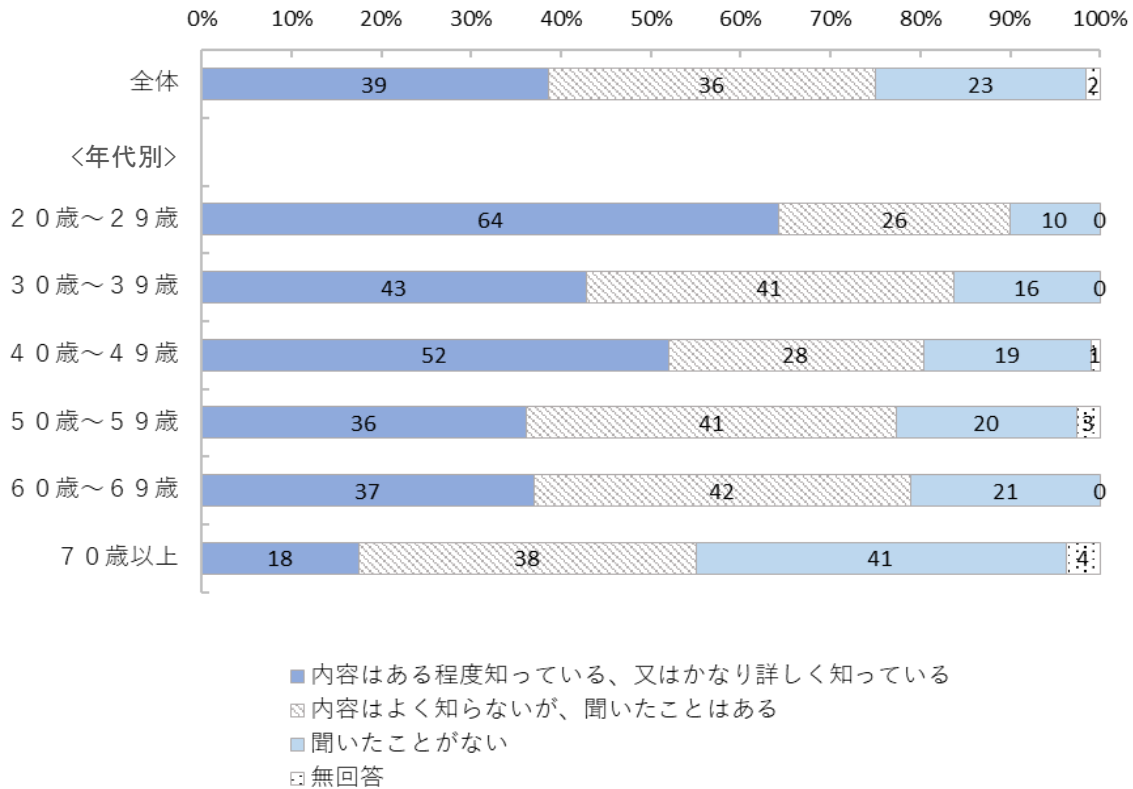
・「どれも知らない」と答えた方が49%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が37%、「地域福祉活動サポーター」が22%と続きます。

・地域にはたくさんの相談窓口があり、その存在を知っていただき気軽に相談できることが重要です。区広報紙やホームページ、各種リーフレットを効果的に活用し、多くの方に知っていただけるよう努めます。

◆◆◆◆【SDGs(エス・ディー・ジーズ)について】◆◆◆◆

問18 あなたはSDGs(エス・ディー・ジーズ、持続可能な開発目標)という言葉を知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 内容はある程度知っている、又はかなり詳しく知っている	252	39
2 内容はよく知らないが、聞いたことはある	238	36
3 聞いたことがない	153	23
無回答	10	2
回答者数	653	



●SDGsの認知度が大幅に増加

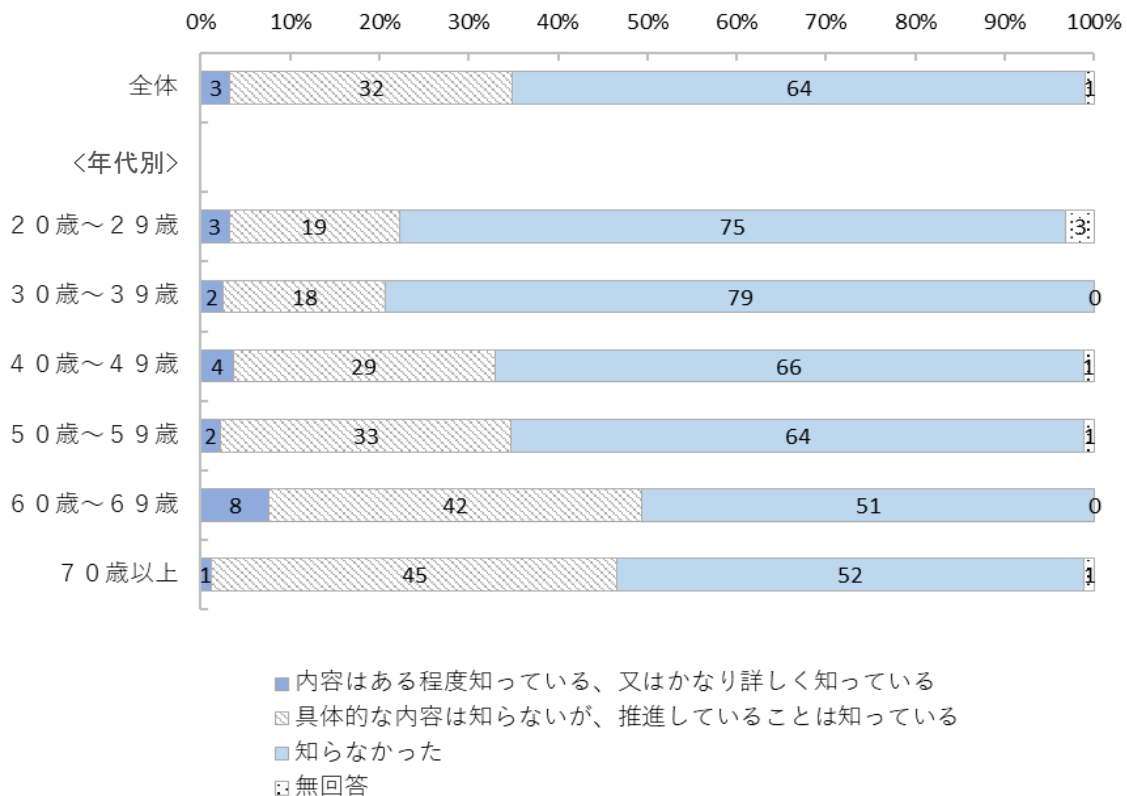
・SDGsを知っている、聞いたことのある方の割合は75%で、昨年の25%を大きく上回りました。

◆◆◆◆【SDGs(エス・ディー・ジーズ)について】◆◆◆◆

問19 問18で「1 内容はある程度知っている、又はかなり詳しく知っている」および「2 内容はよく知らないが、聞いたことはある」と回答した方にお聞きします。

東成区は区政全般にわたりSDGsへの取組みを推進していますが、あなたはそのことを知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 内容はある程度知っている、又はかなり詳しく知っている	16	3
2 具体的な内容は知らないが、推進していることは知っている	155	32
3 知らなかった	314	64
無回答	5	1
回答者数	490	



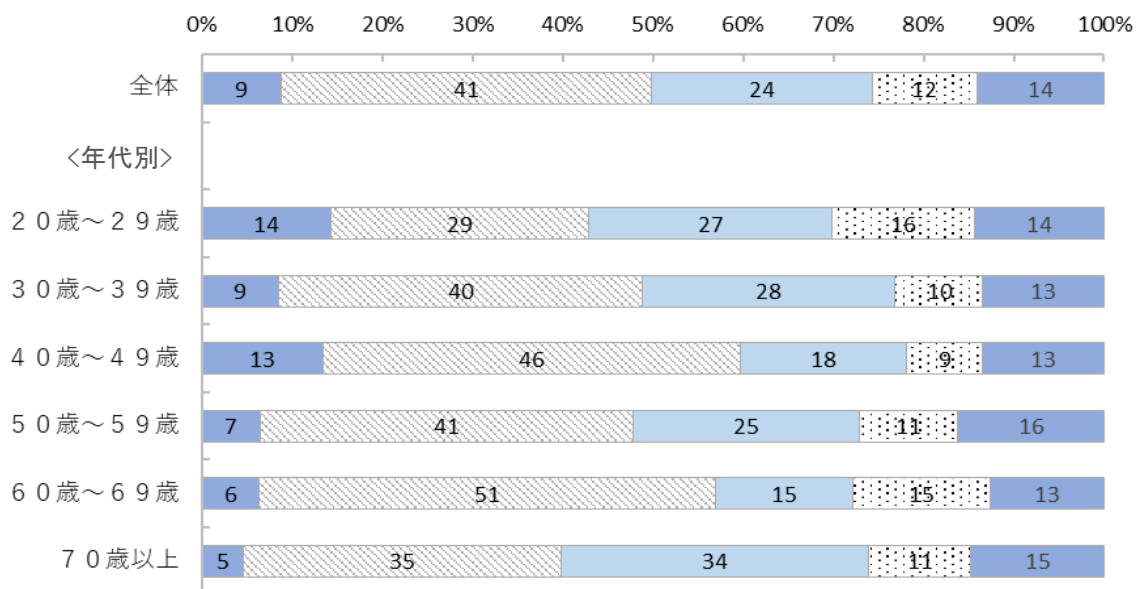
●東成区のSDGsの取組推進を知らない方が約6割

・東成区のSDGsの取組内容や推進していることを知っていると感じた方の割合は35%で、昨年の41%より少し下がりました。

◆◆◆◆【SDGs(エス・ディー・ジーズ)について】◆◆◆◆

問20 問18で「1 内容はある程度知っている、又はかなり詳しく知っている」および「2 内容はよく知らないが、聞いたことはある」と回答した方にお聞きします。
あなた自身はSDGsに関心がありますか？

	項目	回答数	比率(%)
1	かなり関心があり、調べたり実践したりしている	43	9
2	関心があり、何かしたいと思っているが、これまで特にアクションは起こしていない	201	41
3	関心はあるが、多忙などの理由により具体的なアクションを起こすつもりはない	120	24
4	関心がない	57	12
	無回答	69	14
	回答者数	490	



- かなり関心があり、調べたり実践したりしている
- ▨ 関心があり、何かしたいと思っているが、これまで特にアクションは起こしていない
- 関心はあるが、多忙などの理由により具体的なアクションを起こすつもりはない
- 関心がない
- 無回答

●SDGsを知っている、聞いたことがある方の5割の方が行動に対しても前向き

- ・SDGsを知っている、聞いたことがある方の中で、関心があると回答した方の割合は74%で、昨年の69%の横ばいでした。
- ・しかし、関心がある方のなかで、何かアクションをしたいと思っている方の割合は41%で、昨年の32%を大きく上回りました。
- ・関心がある方が気軽に行動に移せるよう、日々の生活でも取り組める具体的な行動例を、区広報紙やホームページ等を通じて広報していきます。

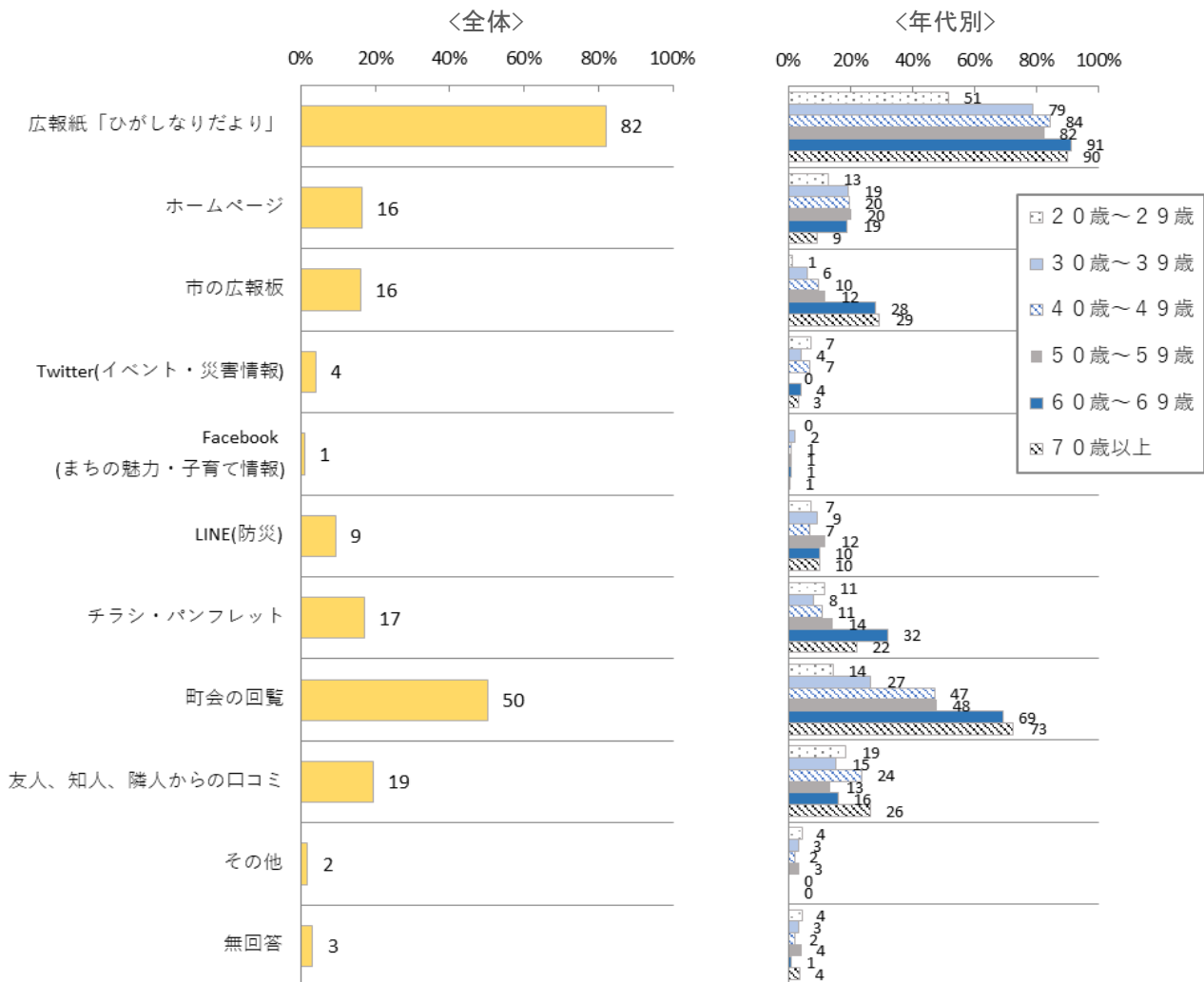
◆◆◆◆◆【広報について】◆◆◆◆◆

東成区では、区政に関する情報が区民全体に届けられるよう様々な広報媒体を活用し、わかりやすく魅力的な広報に努めています。

問21 東成区からの情報をどのような媒体から入手していますか？【6つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 広報紙「ひがしなりだより」	535	82
2 ホームページ	107	16
3 市の広報板	106	16
4 Twitter(イベント・災害情報)	26	4
5 Facebook(まちの魅力・子育て情報)	6	1
6 LINE(防災)	61	9
7 チラシ・パンフレット	112	17
8 町会の回覧	328	50
9 友人、知人、隣人からの口コミ	127	19
10 その他	12	2
無回答	20	3
回答者数	653	

- その他の主な意見
- ・ 家族から
- ・ 特に入手していない



●広報媒体で最も利用されているのは広報紙

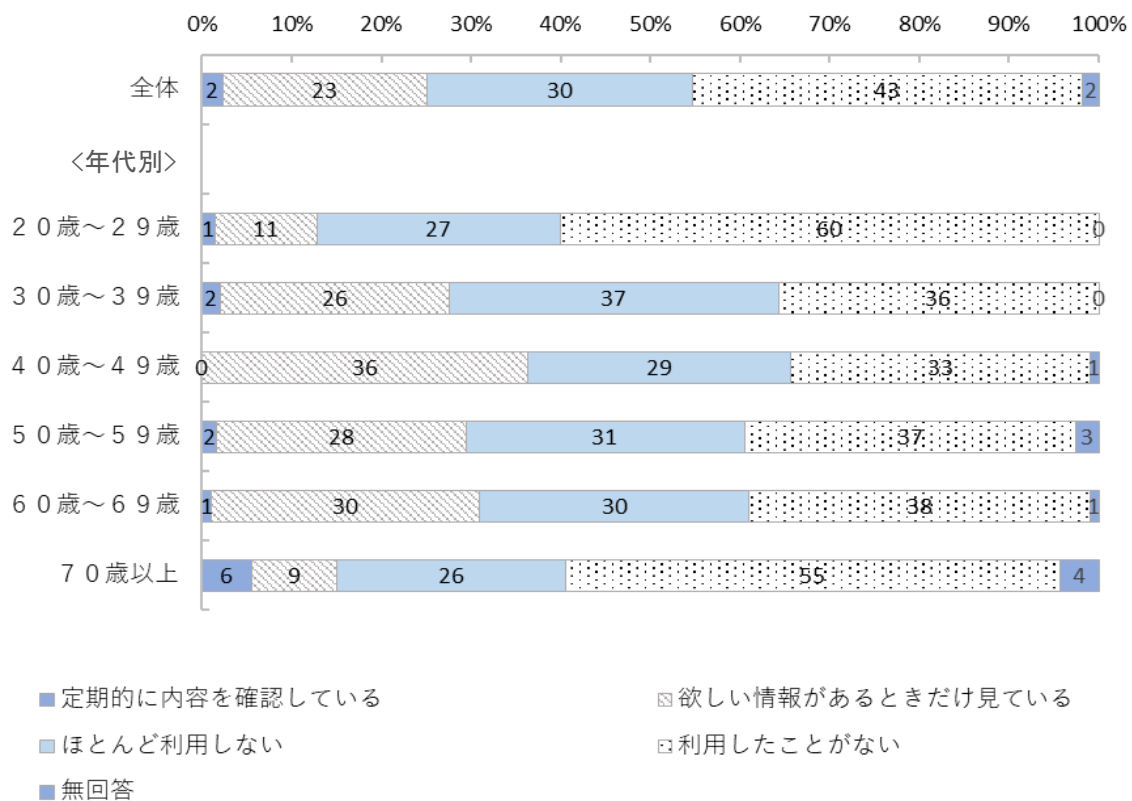
・広報紙のほか町会の回覧、チラシ・パンフレット等の紙媒体から情報を入手されている方が多く、SNS等からの情報を入手されている方は少ない結果となりました。年代別で見ると、年齢層が高くなるほど紙媒体で情報を得る割合が高い傾向になることが分かりました。

・今後も引き続き魅力ある広報紙作りに取り組むとともに、広報内容に応じて様々な媒体を使い分けることで効果的な情報発信に努めます。

◆◆◆◆【広報について】◆◆◆◆

問22 東成区のホームページをどのくらいの頻度で利用していますか？

項目	回答数	比率(%)
1 定期的に内容を確認している	15	2
2 欲しい情報があるときだけ見ている	149	23
3 ほとんど利用しない	193	30
4 利用したことがない	284	43
無回答	12	2
回答者数	653	



● 広報紙を利用したことがない方の割合は約4割

・「利用したことがない」が43%と最も多く、「ほとんど利用しない」が30%と続きます。「欲しい情報があるときだけ見ている」の23%と、「定期的に内容を確認している」の2%を合わせた利用率は25%でした。

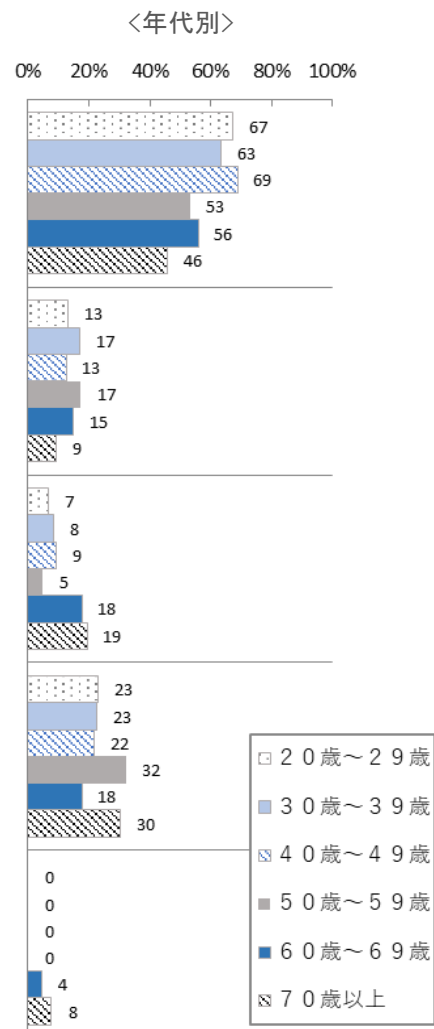
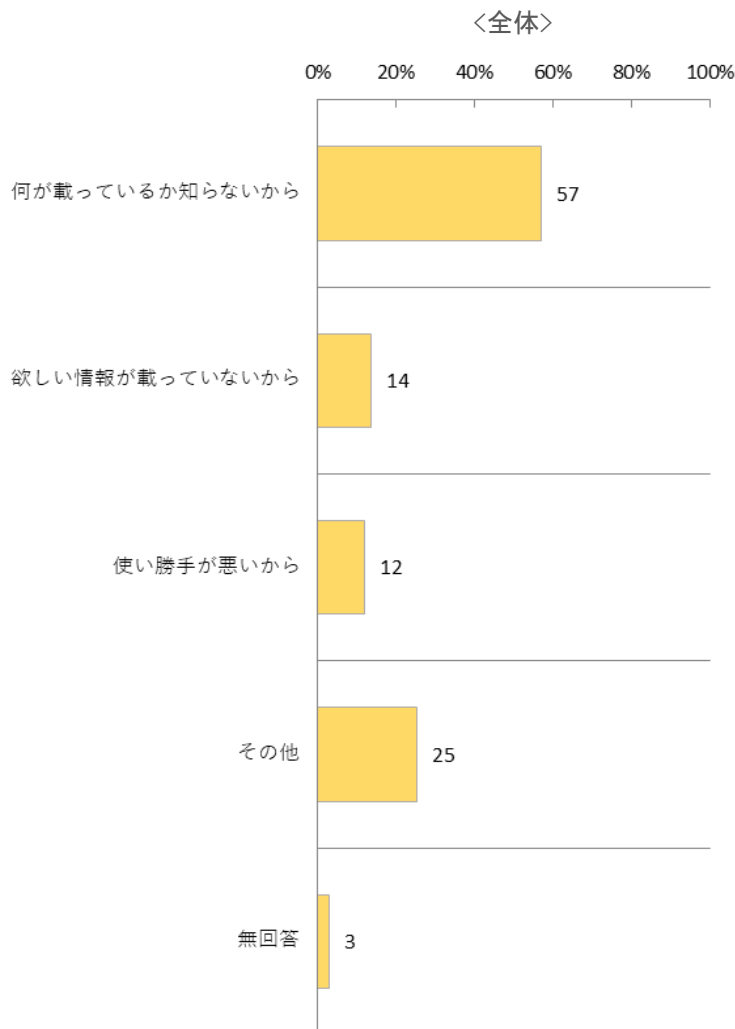
◆◆◆◆◆【広報について】◆◆◆◆◆

問23 問22で「3 ほとんど利用しない」および「4 利用したことがない」と回答した方にお聞きます。
あなたが東成区のホームページを利用しない理由は何ですか？【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 何が載っているか知らないから	272	57
2 欲しい情報が載っていないから	65	14
3 使い勝手が悪いから	57	12
4 その他	121	25
無回答	13	3
回答者数	477	

●その他の主な意見

- ・インターネットを利用できないため
- ・ひがしなりだよりを見ているため必要ない



●ホームページを利用しない最も多い理由は、「何が載っているか知らないから」

- ・「何が載っているか知らない」と回答した方の割合は57%で、年代別にみると、20歳代・30歳代・40歳代の方でその傾向が高い結果となりました。
- ・今後も引き続き、利用者にとって情報を入手しやすく、わかりやすいホームページの情報発信に努めます。

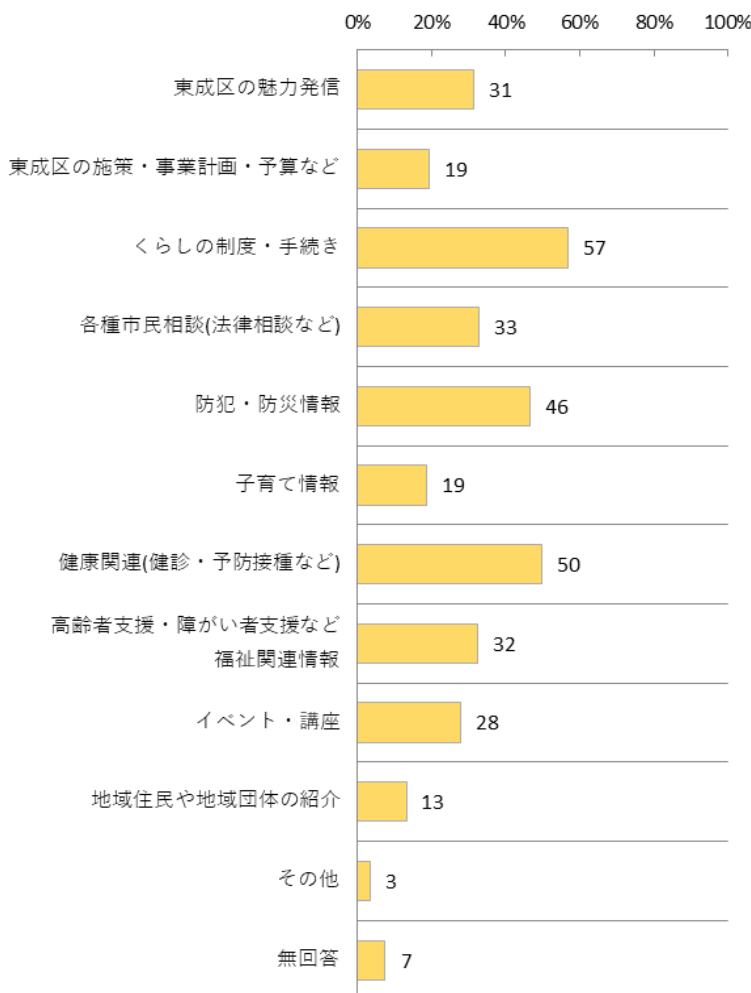
◆◆◆◆【広報について】◆◆◆◆

問24 ホームページやSNSでどのような内容を充実してほしいですか？【6つ以内で複数回答可】

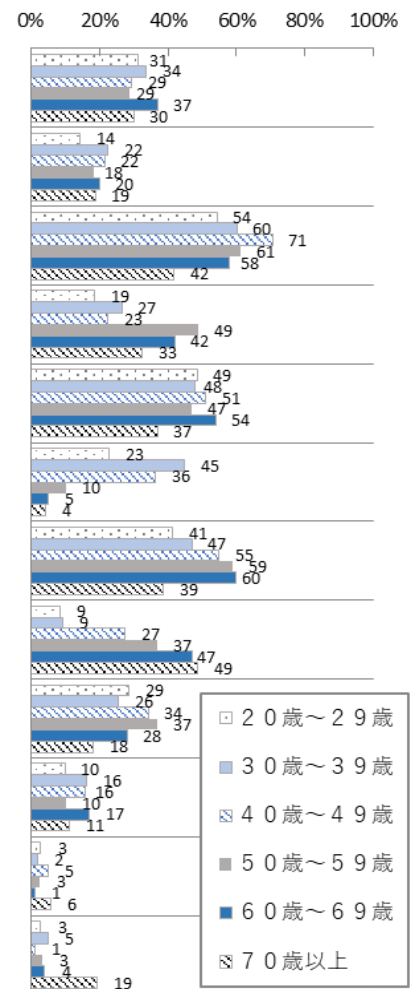
項目	回答数	比率(%)
1 東成区の魅力発信	205	31
2 東成区の施策・事業計画・予算など	127	19
3 暮らしの制度・手続き	370	57
4 各種市民相談(法律相談など)	215	33
5 防犯・防災情報	303	46
6 子育て情報	122	19
7 健康関連(健診・予防接種など)	324	50
8 高齢者支援・障がい者支援など福祉関連情報	212	32
9 イベント・講座	182	28
10 地域住民や地域団体の紹介	86	13
11 その他	22	3
無回答	48	7
回答者数	653	

- その他の主な意見
- ・防犯対策について
 - ・東成区の魅力あるスポットの紹介
 - ・税金や手当、支援金の情報

<全体>



<年代別>



●最も多くの方が充実してほしいと思う情報は「暮らしの制度・手続き」

・「暮らしの制度・手続き」が57%で最も多く、「健康関連(健診・予防接種など)」が50%、「防犯・防災情報」が46%と続きます。

・年代別に見ると、「暮らしの制度・手続き」では、40歳代で特に高い結果となりました。

自由意見欄のご意見等

※ご意見やご要望をわかりやすく掲載するために、一部抜粋や修正を行っています。

<防災について>

- ・緊急情報を伝える屋外スピーカーのアナウンスが、声が拡散して聞き取りづらい。ベランダに出ても内容が分からない。これでは意味がありませんので、スマートフォンに緊急アラートを送るなど、改善をお願いしたい。
- ・水害時に避難できそうなマンションを自分なりにシミュレーションしていますが、行政でマンションも水害時避難ビルに指定してもらいたい。

<防犯・交通安全について>

- ・近所の道路の自転車のマナーが悪い。パトロールの人がいても、大人は信号無視をする。子どもたちの通学路になっているようなので安全のためにもパトロール強化してほしい。
- ・自転車ひたくり防止カバー取付キャンペーンをしているが、カバーを中々もらえずにいる。希望をきいて家庭にくばるなど、配布方法を考えてほしい。

<地域福祉について>

- ・高齢者、特に一人暮らしの見守り活動を、民生委員や地域包括支援センターと協力し、より強力にやってほしい。

<広報について>

- ・スマートフォン、パソコンがない人にも情報が早く流れる様にしてほしい。高齢者はインターネットを使用できない。
- ・今まで区のホームページを見てみようと思うことがなかった。これから時々チェックしてみたい。

<その他>

- ・犬の散歩やふんの始末のマナーを啓発してほしい。

掲載しているものの他にもたくさんのご意見等をいただいております。ご協力ありがとうございました。いただきましたご意見等を参考にさせていただき、東成区政に活かしてまいります。

区民アンケートに関しまして、ご意見やご不明な点等がございましたら、下記の連絡先までお問合せください。

【お問合せ先】東成区役所総務課(総合企画担当) Tel:06-6977-9683



東成区の情報はこちらでも発信してます！

LINE
(防災)



Twitter



facebook
(まちの魅力)



facebook
(子育て)

